

平成 16 年度事業

在宅医療廃棄物取扱方法検討調査報告書

平成 17 年 3 月

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部

はじめに

在宅医療の進展とともに、一般家庭からも点滴バッグや注射器等の廃棄物が排出されるようになってきている。しかしながら、それらの処理実態については、体系的な調査が十分実施されていないのが現状である。

そこで、本調査では昨年度から在宅医療廃棄物の処理の在り方について検討を行っており、15年度調査では患者団体、メーカーへのヒアリング調査、医師会等の関係団体や医療機関、市町村等へのアンケート調査を行い、一般家庭から排出される糖尿病用自己注射、自己腹膜透析等の在宅医療廃棄物の排出・処理状況、市町村における排出方法の指導の有無等についての調査を行い、現状を把握した。

16年度は、これらの現状を踏まえて、15年度に実施したアンケート調査等を通じて把握できた先進的事例を対象に、取組内容や現在抱えている問題点等について、詳細な調査を行い、在宅医療から排出される廃棄物の処理の在り方についての検討を行った。

本調査の実施に当たっては、宮崎元伸福岡大学医学部衛生学教室助教授を座長とする検討会を設置し、検討を進めていただき、本報告書を取りまとめることができた。

ここに、委員方々及びヒアリング調査、アンケート調査にご協力いただいた関係者の方々のご指導、ご協力に対し、深甚なる謝意を表す。

平成 17 年 3 月

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 検討内容	1
第2章 在宅医療廃棄物の発生	4
1. 在宅医療診療行為の現状	4
2. 在宅医療廃棄物の対象範囲	7
3. 主な在宅医療廃棄物の例示	8
4. 在宅医療関連製品の製造・販売量	11
第3章 在宅医療廃棄物の処理の現状、問題点	13
1. アンケート調査結果の概要	13
(1) 市町村	13
(2) 医師会	17
(3) 医療機関	18
(4) 薬剤師会	21
(5) 訪問看護ステーション	22
(6) 共通項目	25
2. ヒアリング調査の概要	28
(1) 市町村	29
(2) 患者団体	33
(3) 医療関係者(医療機関、薬剤師会、薬局、訪問看護ステーション)	34
(4) メーカー	41
(5) 公正取引協議会	42
3. 在宅医療廃棄物の処理の現状、問題点について	43
第4章 在宅医療廃棄物の処理の在り方について	52
1. 在宅医療廃棄物の処理に関する関係者の役割について	52
2. 在宅医療廃棄物を取り扱う際の注意事項について	58
3. 「在宅医療廃棄物の処理の在り方検討会」の提言	61

参考資料

在宅医療に伴い家庭から排出される廃棄物の適正処理の推進について(通知)(厚生省生活衛生局水道環境部環境整備課長通知 平成10年7月30日 衛環第71号)